

# HITACHI

## 液晶プロジェクター

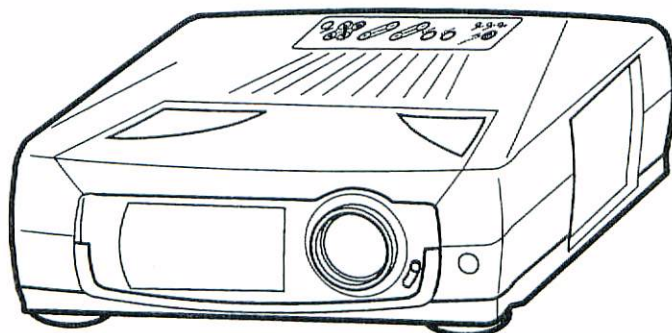
形名

# CP-X950J

## 取扱説明書

このたびは、日立液晶プロジェクターをお求めいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくご使用ください。なお、お読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。



## 概要

本液晶プロジェクターは、各種のコンピュータ信号とNTSC/PAL/SECAM方式のビデオ信号をスクリーンに映し出せる投写型プロジェクターです。設置スペースをとらず、簡単に大画面が実現できます。

## 特長

- (1) 高輝度  
メタルハライドランプ高効率光学系の採用による高輝度
- (2) 高解像度  
RGB各色ごとに高精細液晶パネルを採用
- (3) 小型、軽量
- (4) RGB出力端子
- (5) RS-232C通信機能
- (6) マウス機能
- (7) 電動ズーム、電動フォーカス
- (8) VESA DDC1/2B 対応

## もくじ

ページ

お使いになる前に .....	2
各部の名称と働き .....	7
設置 .....	10
基本操作 .....	11
調整と機能について .....	13
VIDEO 信号入力端子への接続 .....	18
RGB 信号入力端子への接続 .....	18
CONTROL 信号端子への接続 .....	21
システムアップ例 .....	26
エアフィルタークリーニング ...	26
ランプについて .....	27
メッセージ一覧表 .....	27
故障かな?と思ったら .....	28
仕様 .....	29
保証とアフターサービスについて ...	30

# お使いになる前に

## <ご使用前に>

### 絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



## 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



## 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

### 絵表示の例



△ 記号は警告（注意を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜くこと）が描かれています。

# 安全上のご注意

## 警告

### ■ 万一、異常が発生したとき

● 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は、危険ですから絶対おやめください。

● 画面が映らない、音が出ない、変な音がするなどの故障状態で使用しないでください。火災・感電の原因となります。



プラグを  
コンセントから  
抜くこと

すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて修理を販売店にご依頼ください。

● 万一、本機の内部に水などが入った場合は、まず本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

### ■ 不安定な場所に置かないでください。

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。



### ■ キャビネットを開けないでください

キャビネットは開けないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



分解禁止



感電注意

### ■ 改造しないでください。

本機を改造しないでください。火災・感電の原因となります。



分解禁止

### ■ 風呂場では使用しないでください

風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



水場での使用禁止

### ■ 異物を入れないでください

● 本機の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。



● 万一、異物が本機の内部に入った場合は、まず本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



プラグを  
コンセント  
から抜くこと

### ■ 点灯中はレンズをのぞかないでください

点灯している状態でレンズをのぞかないでください。強い光が投射されますので視力障害などの原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



### ■ 衝撃を与えないでください

万一、本機を落としたり、キャビネットを破損した場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



プラグを  
コンセント  
から抜くこと

### ■ 液体の入った容器などを置かないでください

本機の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



### ■ 表示以外の電源で使用しないでください

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。



# 警告

## ■ 電源コードを大切に

- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、引っぱったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

- ・ コードをひっぱる
- ・ 重い物の下敷き
- ・ コードの破損
- ・ 熱器具のそば



- 電源コードが本機の下敷きにならないようご注意ください。コードに傷がついて火災・感電の原因となります。コードの上を敷きものなどでおおうことにより、それに気づかないで重い物をのせてしまうことがあります。

- 電源コードが傷んだら、(芯線の露出、切断など) 販売店に交換をご依頼ください。火災・感電の原因となります。

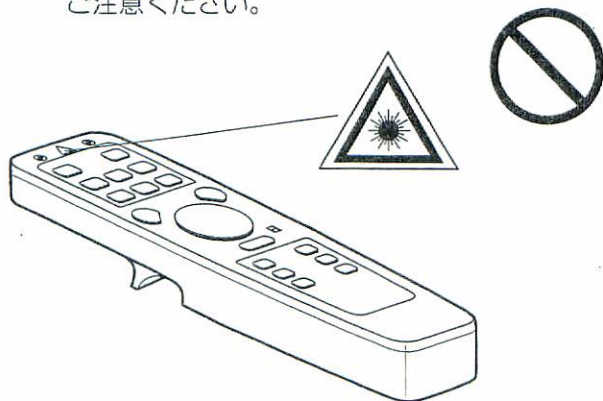


- 電源プラグはホコリが付着していないことを確認し、ガタツキのないように、刃の根元まで確実に差し込んでください。ホコリが付着したり、接続が不完全な場合は、感電や火災の原因となります。

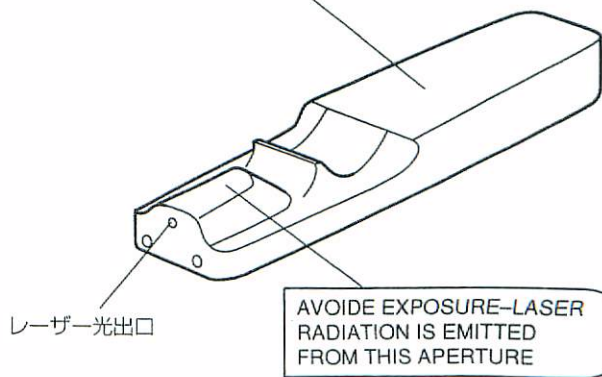
## ■ レーザー光を目にあてないでください

- このリモコンにはレーザーポインターが装着されていて、レーザー光出口からレーザービームがでます。レーザー光出口を直接のぞきこんだり、他の人にレーザービームをあてたりしないでください。

レーザービームが目にあたると視力障害などの原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



 <b>レーザー光</b> ビームをのぞきこまないでください。 1.0mW レーザダイオード 670nm	<b>使用上のご注意</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 使用乾電池 : 単 3×2</li><li>・ 電池は表示通り正しく入れてください。</li><li>・ 新旧電池を混用しないでください。</li></ul>
クラス 2 レーザー製品	MADE IN JAPAN



# ⚠ 注意

## ■ 乗ったり、重いものを置いたりしないでください

- 本機に乗らないでください。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。
- 本機の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。



## ■ 通風孔をふさがないでください

本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。本機を横倒しにする。風通しの悪い狭いところに押し込む。じゅうたんや布団の上に置く。テーブルクロスなどを掛ける。また、本機を設置する場合は、通風孔が壁から10cm以上離れるように、間隔を置いて据え付けてください。



## ■ お手入れのときは

お手入れの際は安全のため、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。



プラグを  
コンセント  
から抜くこと

## ■ 電池の使用は

- 本機で指定されていない電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となることがあります。
- 電池を機器内に挿入する場合、極性表示⊕プラスと⊖マイナスの向きに注意し、機器の表示通り正しく入れてください。間違えますと電池の破裂、液もれによりけがや周囲を汚損する原因となることがあります。



## ■ 2年に一度は内部のお掃除を

2年に一度くらいは内部の掃除を販売店にご依頼ください。本機の内部にほこりがたまったまま、長いあいだ掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行くと、より効果的です。なお、内部掃除費用については販売店にご相談ください。



## ■ 湿気やほこりの多いところに置かないでください

- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



## ■ キャスター（車）止めをしてください

キャスター付きの台に本機を設置する場合には、キャスター止めをしてください。動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



## ■ 電源コードを粗雑に扱わないでください

- 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



## ■ 長時間で使用にならないとき

旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、レンズに傷がつかないようにレンズカバーを閉じてください。



プラグを  
コンセント  
から抜くこと

## ■ 持ち運ぶときのご注意

- 移動させる場合は、レンズカバーを閉じ、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続線ははずしたことを確認の上、行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。また衝撃を与えないようにしてください。故障の原因となります。
- 屋外での移動時、雨などにより本機に水滴が付着しないようにしてください。水滴が付着した場合には、よく乾燥させてからご使用ください。水滴が付着したまま使用しますと火災・感電の原因となることがあります。



プラグを  
コンセント  
から抜くこと



# 一般的なご注意

## ■ 高温になるところに置かないでください

屋上や直接日光が当たる場所やストーブのような熱器具の近くに置くと、キャビネットや部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。



## ■ 音量について

周辺の人を迷惑とにならないよう適度の音量でお楽しみください。特に夜間での音量は小さい音でも通りやすいので、窓を閉めたりして、隣り近所への配慮を十分し、生活環境を守りましょう。

## ■ レンズのお手入れ

レンズの清掃は、市販のレンズクリーニングペーパー（カメラやメガネなどの清掃に使用）で行ってください。レンズを固いもので傷つけたりしないようご注意ください。



## ■ キャビネットのお手入れ

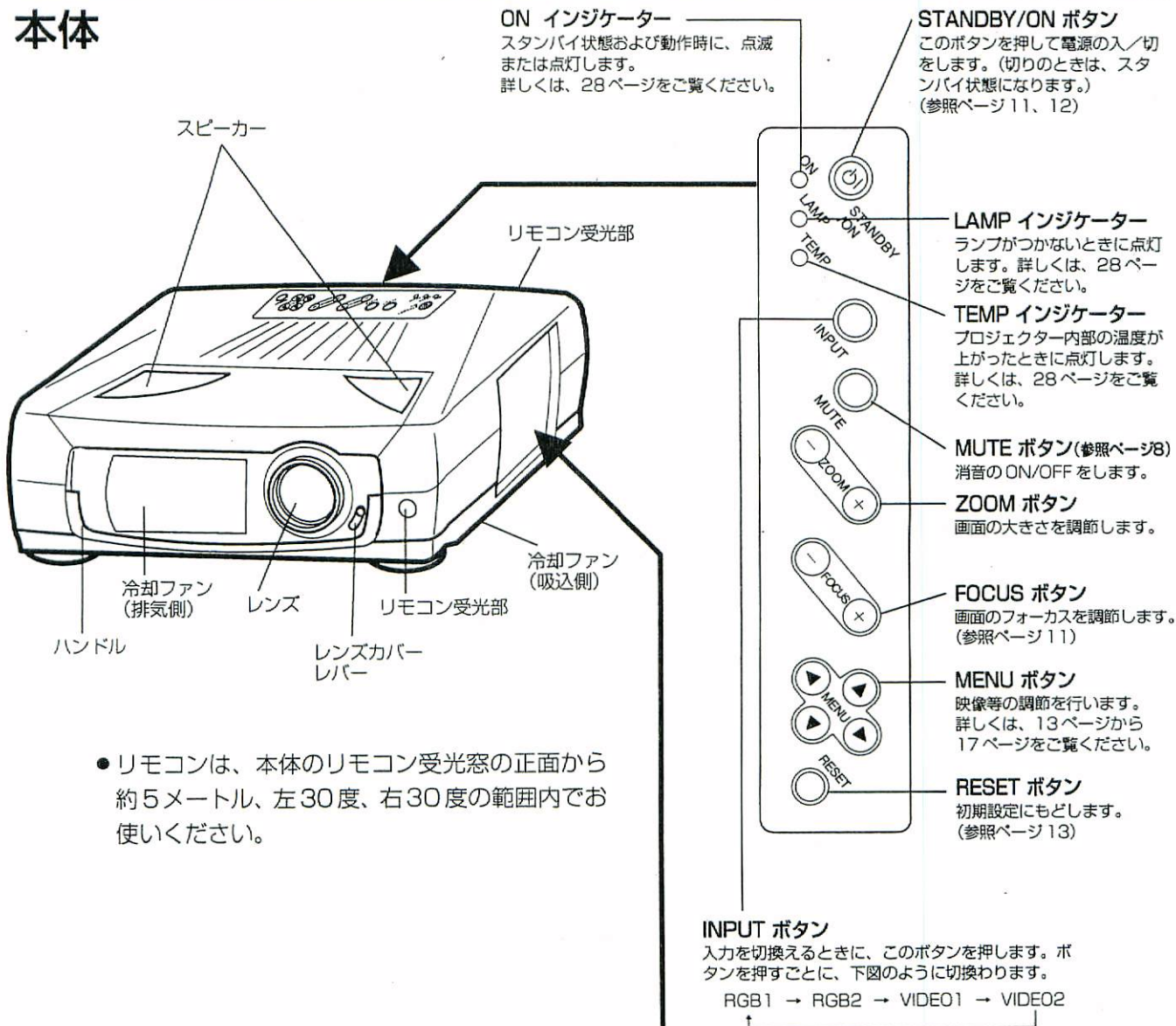
- キャビネットの表面はプラスチックが多く使われています。ベンジン、シンナーなどでふいたりしますと変質したり、塗料がはがれることがありますので避けてください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。変質したり、塗料がはがれるなどの原因となります。
- キャビネットや操作パネル部分の汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは洗剤を直接本機にかけないで、水にうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

## ■ 長時間ご覧になるとき

長時間ご覧になるときは、目を疲れさせないためにも、ときどき目を休めてください。

# 各部の名称と働き

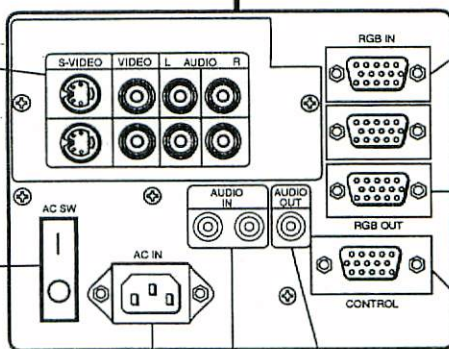
## 本体



- リモコンは、本体のリモコン受光窓の正面から約5メートル、左30度、右30度の範囲内でお使いください。

**VIDEO 入力端子**  
S-VIDEO 入力端子  
ミニ DIN 4ピンコネクタ (1/2)  
VIDEO 入力端子  
RCA ジャック (1/2)  
AUDIO L/R 入力端子  
RCA ジャック (1/2)

**MAIN POWER スイッチ**  
主電源の入/切をします。  
○: 切  
|: 入



**RGB 入力端子**  
RGB 入力端子  
D サブ 15ピンシュリンク (1/2)

**RGB 出力端子**  
RGB 出力端子  
D サブ 15ピンシュリンク

**CONTROL 端子**  
D サブ 15ピンシュリンク

**AC IN コンセント**  
付属の電源コードを接続します。

**AUDIO 出力端子 (RGB/VIDEO)**  
ステレオミニピンジャック

**AUDIO 入力端子**  
ステレオミニピンジャック (1/2)



### 警告 AC IN コンセント接続上のご注意

付属の電源コードを AC IN コンセントの根元まで確実に差し込んでください。接続が不完全な状態で動作させると感電や火災の原因になることがあります。

# 各部の名称と働き (つづき)

## リモコン送信機

### STANDBY / ON ボタン

ボタンを押して電源の入/切をします。  
(切りのときは、スタンバイ状態になります。)  
(P.11、12 参照)

### FOCUS ボタン

画面のフォーカスを調節します。  
(P.11 参照)

### ZOOM ボタン

画面の大きさを調節します。(P.11 参照)

### POSITION ボタン

このボタンを押した後ディスクパットの上下左右を押すとそれに従い上下左右に動きます。  
(RGB 信号出力時のみ有効)  
リモコンボタンが点灯している間、操作できます。

### DISK PAD \*1

- ① メニュー画面を表示している場合、メニュー選択機能となります。(P.13 参照)
- ② メニュー画面を表示していない場合、マウスカーソルの移動機能となります。
- ③ POSITION ON ボタンを押した後では、画面を上下左右に動かす事ができます。

### MENU ON ボタン \*2

メニュー画面表示をスタートし、リモコンボタンが点灯します。ボタンが点灯中はメニュー操作がおこなえます。(P.13~17 参照)

### BLANK ON ボタン

- ① ブランキングをかけます。
- ② このボタンを再度押し続けることによりブランキングの、上から下への幕引き (REVEAL) ができます。(P.15~16 参照)

### INPUT SELECT ボタン

入力を切換えるときに、このボタンを押します。  
(P.11 参照)

### MUTE ボタン

消音します。(ミュート時に再度ボタンを押すと解除します。)

### VOLUME ボタン

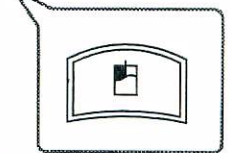
音量を調節します。“+”を押すと音が大きくなり、“-”を押すと小さくなります。

### LASER on

レーザー光線をだし、指し棒の代わりに使用します。使用にさいしてはp.9をお読みください。

### MOUSE LEFT ボタン

マウス操作の左クリックに相当します。(リモコンの裏) (P.21 参照)



### RESET / RIGHT ボタン

メニュー画面を表示している場合は、RESET ボタンとなり、このボタンを押すと、初期設定に戻ります。  
メニュー画面を表示していない場合は、マウス操作の右クリックの機能となります。(P.21 参照)  
POSITION ON で画面をスクロールした後で押すと、画面が元の位置に戻ります。

### MOUSE ON ボタン

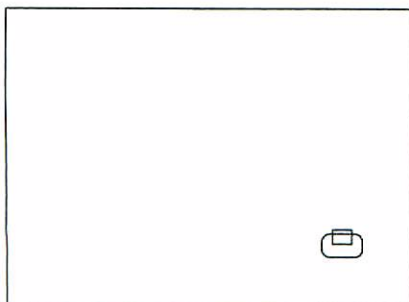
マウスモードとなりカーソルを表示します。この時メニュー表示やブランキング表示は解除され、リモコンボタンの点灯も消えます。(P.21 参照)

### TIMER ON / OFF ボタン

メニュー画面のTIMER で設定した時間表示をON / OFF します。  
ブランキング時はTIMER は表示されません。  
タイマーの設定方法は、17 ページをお読みください。

### \*1 POSITION ON のアイコン

POSITION ON ボタンを押すと、リモコンボタンが点灯すると共に画面の右下に移動表示のアイコンが現れます。アイコンが現れている間はディスクパッドで画面を動かすことができます。  
ビデオモード時ではアイコンは出ますが動作はしません。



### \*2

リモコンのボタンが点灯状態では (POSITION ON/MENU ON ボタン) 画面にアイコンがメニュー表示されていない時でも DISK PAD は動作します。動作スタートと同時にアイコンやメニュー表示されます。  
機能を中断する時は MOUSE ON ボタンを押して下さい。



# 各部の名称と働き (つづき)

**乾電池の入れかた** 付属の単3形乾電池をリモコンに入れます

**1 電池ふたをはずします**

電池ふたを押して、矢印の方向にずらします。



**2 乾電池を入れます**

必ず⊕、⊖の表示に合わせてください。



**3 電池ふたを閉めます**

**⚠注意** 乾電池の使用上のご注意

- 本機で指定されていない電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となることがあります。
- 電池を機器内に挿入する場合、極性表示プラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、機器の表示通り正しく入れてください。間違えますと電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

**⚠ご注意** リモコンの使用上のご注意

- リモコンを落としたり、衝撃を与えないでください。
- リモコンに水をかけたり、ぬれたものの上に置かないでください。故障の原因になります。
- 長時間ご使用にならない場合は、乾電池をリモコンから取り出しておいてください。
- リモコンの操作がしにくくなったら、乾電池を交換してください。
- リモコンを本機の冷却ファンの近くに置かないでください。

**⚠警告** リモコンのレーザーポインターは指し棒の代わりに使用するものでレーザー光出口を直接のぞきごんだり、他の人にレーザービームをあてたりしないでください。レーザービームが目にあたると視力障害などの原因となります。

**レーザー光**

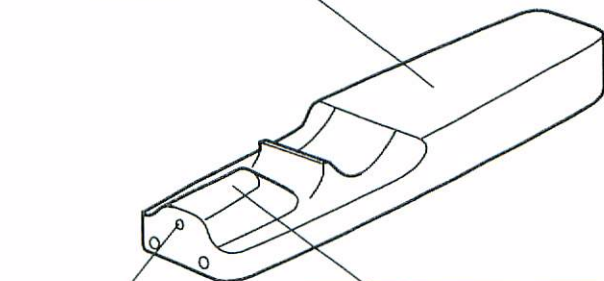
ビームをのぞきまなしないでください。  
1.0mW レーザダイオード 670nm

クラス 2 レーザー製品

MADE IN JAPAN

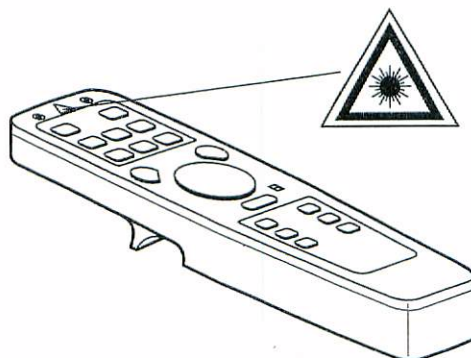
使用上のご注意

- ・使用乾電池 : 単 3×2
- ・電池は表示どおり正しく入れてください。
- ・新旧電池を混用しないでください。



レーザー光出口

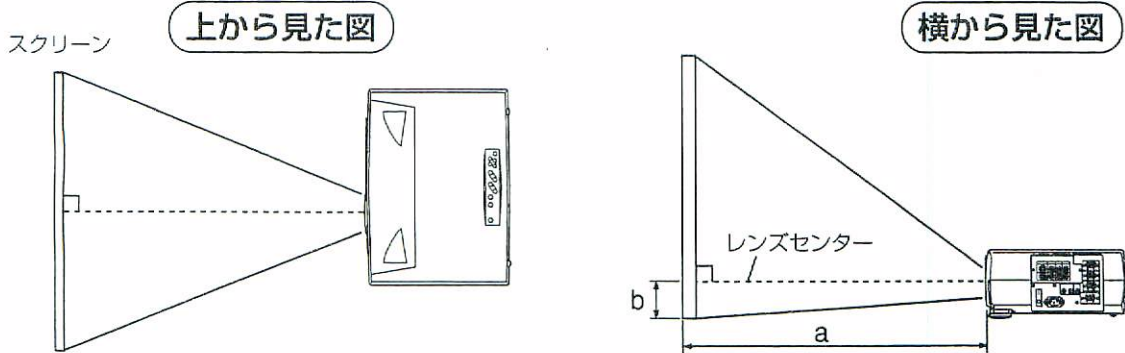
AVOIDE EXPOSURE-LASER  
RADIATION IS EMITTED  
FROM THIS APERTURE



# 設置

## 液晶プロジェクターとスクリーンの設置例

下図を参考に画面サイズと投射距離を決めてください。



スクリーンサイズ	a		b
	最小	最大	
40 インチ	1.5m	2.3m	9cm
60 インチ	2.3m	3.4m	13cm
80 インチ	3.0m	4.5m	18cm
100 インチ	3.8m	5.7m	22cm
120 インチ	4.5m	6.8m	26cm
150 インチ	5.7m	8.5m	33cm
200 インチ	7.6m	11.4m	44cm

a : 液晶プロジェクターからスクリーンまでの距離  
b : レンズセンターから画面下までの長さ (公差±10%)

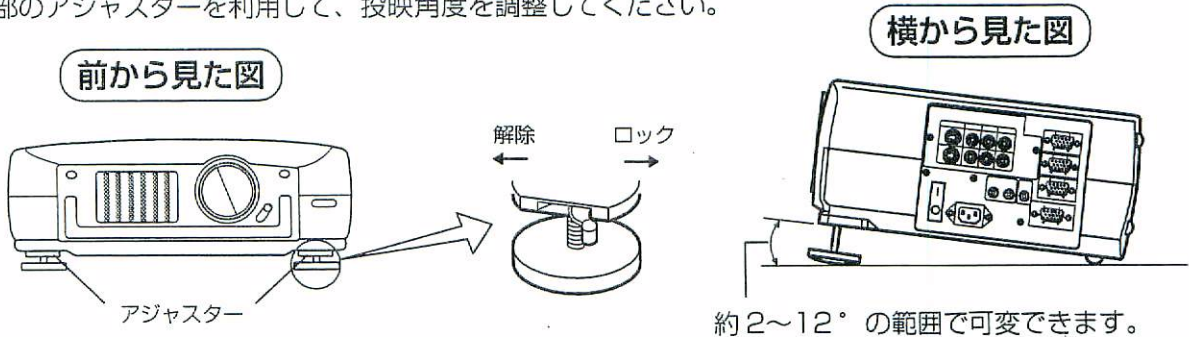
### ご注意

基本的に液晶プロジェクタは水平で御使用下さい。(足を上向きにするのは大丈夫です)  
横向き、レンズの上向き、下向きの御使用はセット内の温度を高め、故障の原因となります。

左表の投影距離 (a) はフルサイズ (1024 × 768 ドット) 時での寸法を表わします。

## アジャスターの使い方

底部のアジャスターを利用して、投射角度を調整してください。



約 2~12° の範囲で可変できます。

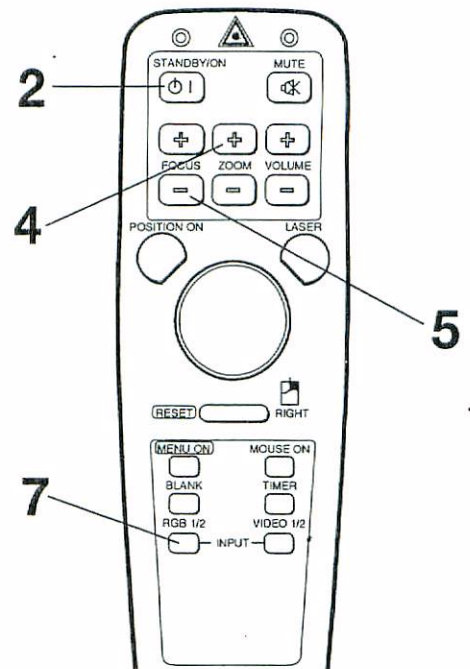
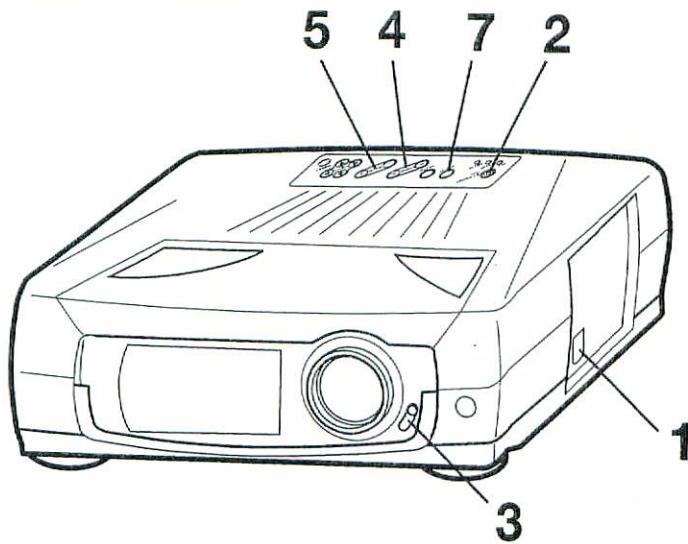
1. 本機を持ち上げ、アジャスターのロックをはずします。
2. 投射角度を調節したら、アジャスターを確実にロックしてください。
3. 微妙な調節は、アジャスターを回してください。

### 注意

- 本機を保持していない状態では、ロックを解除しないでください。壊れたり、指をはさむなど、けがの原因となることがあります。
- アジャスターを無理に回さないでください。アジャスターが壊れ、ロックがかからなくなることがあります。
- ロックは確実に行ってください。ロックしにくいときは、少し角度を変えてロックしてください。

# 基本操作

投映するには



## 1 本体のMAIN POWER スイッチを入れる [I: ON]

- ON インジケーターがオレンジ色に点灯します。

## 2 STANDBY/ON ボタンを押す

- ON インジケーターが緑色の点滅から、緑色の点灯になります。
- 緑色の点滅は、ウォームアップ中を示します。

## 3 レンズカバーレバーを下げ、レンズカバーを開く。

## 4 ZOOM ボタンで画面サイズを調節する

## 5 FOCUS ボタンで、フォーカスを合わせる

- (1) FOCUS ボタンを押すと、右の画面表示がでます。
- (2) FOCUS ボタンで、映像がはっきりするところに合わせます。
- (3) 他のボタンを押すとFOCUS の文字が消えます。

+++FOCUS+++

## 6 接続機器の電源を入れる

他の機器との接続は、18 ページから 26 ページを参照してください。

## 7 本体のINPUT ボタンまたは、リモコン送信機のINPUT SELECT (VIDEO, RGB) ボタンを押して、スクリーンに映したい信号を選ぶ

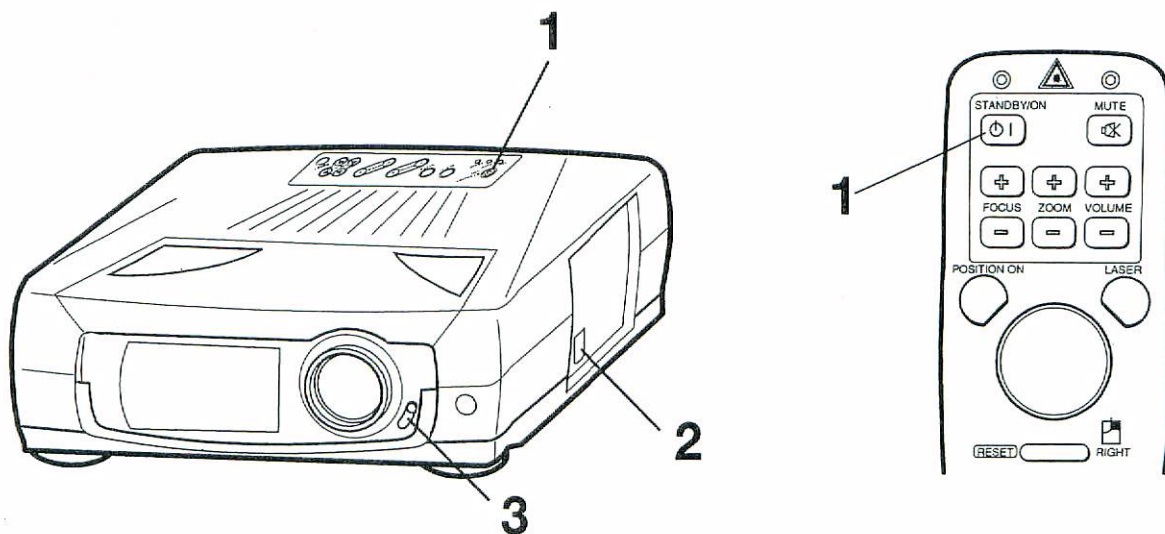
- 画面右下部に、選択されている信号入力を表示します。

画面表示例

RGB 1

# 基本操作 (つづき)

## 電源を切るには



### 1 STANDBY/ON ボタンを1秒間押す

- ON インジケーターがオレンジ色の点滅になり、ランプが消えます。その後（約1分後）ファンが止まりオレンジ色の点灯になります。
- STANDBY/ON ボタンを押している時間が短い場合は、スタンバイ状態にはなりません。

### 2 本体のMAIN POWER スイッチを切る [○: OFF]

### 3 レンズカバーレバーをあげ、レンズカバーを閉じる。

- ご注意**
- STANDBY/ON ボタンを押した後、約1分間、プロジェクター内の温度を下げるため、(クールダウン中) ファンが回っています。
  - ランプの寿命が短くなります。ランプ点灯中にメインスイッチの電源を切らないでください。

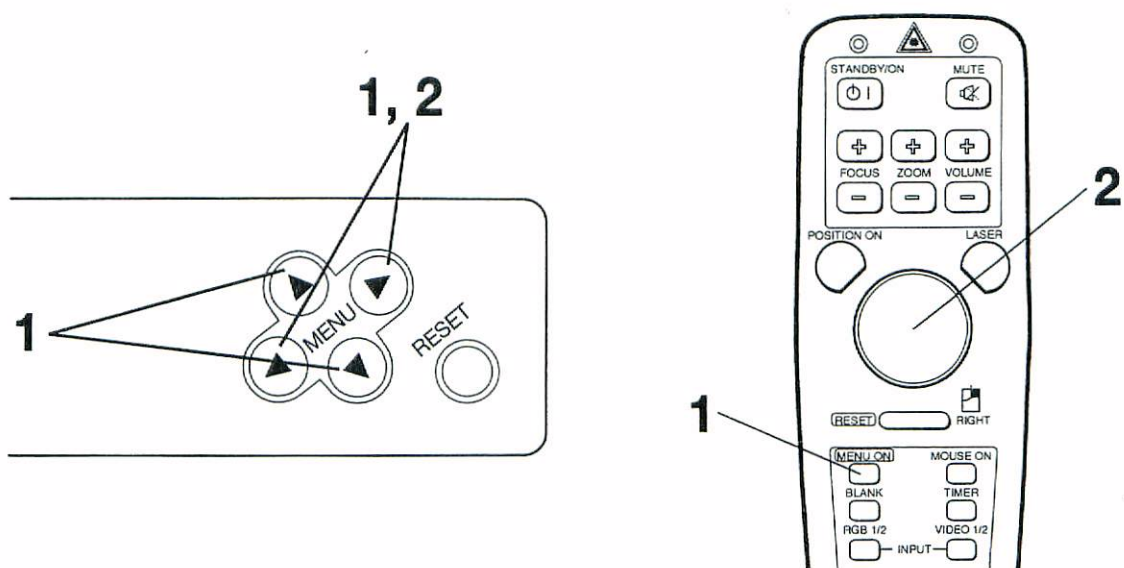
## プラグ&プレイ

本機はVESA DDC 1/2Bに対応しています。VESA DDC (Display Data Channel) 対応のコンピュータに接続して使用すると、プラグ&プレイを実現できます。

(プラグ&プレイは、コンピュータと、ディスプレイを含む周辺機器、およびオペレーティングシステムによって構成されるシステムです。)

- ご注意**
- プラグ&プレイでご使用の場合は、同梱品のRGBケーブルをお使いください。  
他のケーブルでは⑫ - ⑮ピンが接続されない場合があります。  
(RGB1のみ有効です)

# 調整と機能について



## 1 本体のMENU (▲▼◀▶) ボタンまたはリモコン送信機のMENU ON ボタンを押す

- メニュー画面を表示します。

## 2 本体のMENU(◀▶)ボタンまたはリモコン送信機のDISK PAD ボタンで、調節したいメニュー項目を選ぶ

- 緑色で表示しているメニュー項目が選択されています。

## 3 本体のMENU (▲▼◀▶) ボタンまたはリモコン送信機のDISK PAD ボタンで、調節したい項目を選ぶ

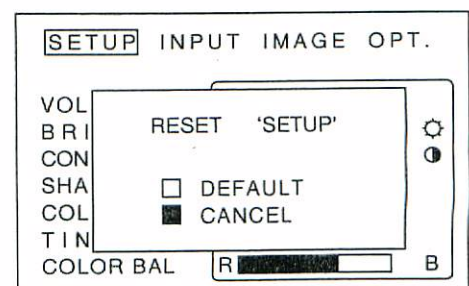
- 緑色で表示している調節項目が選択されています。  
MOUSE ON ボタンを押すか、5~10 秒経過するとメニューが消えます。

## メモリー機能について

VIDEO1, VIDEO2, RGB1, RGB2 の各入力端子毎にメモリー機能があります。  
電源を切っても、前に設定した映像の調節状態となります。

## 初期設定に戻すには

- 初期設定に戻したいメニュー項目を選びます。
- RESET ボタンを押します。
- DEFAULT を選択します。
- 初期設定に戻したい調節項目を選びます。
- RESET ボタンを押します。

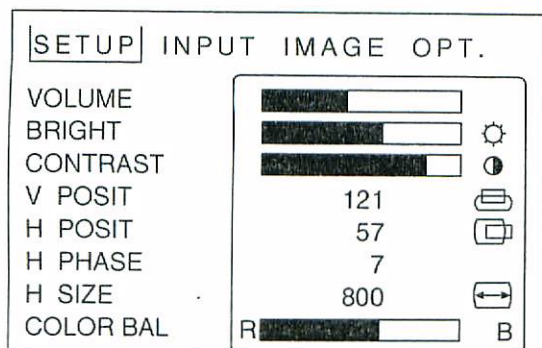


# 調整と機能について (つづき)

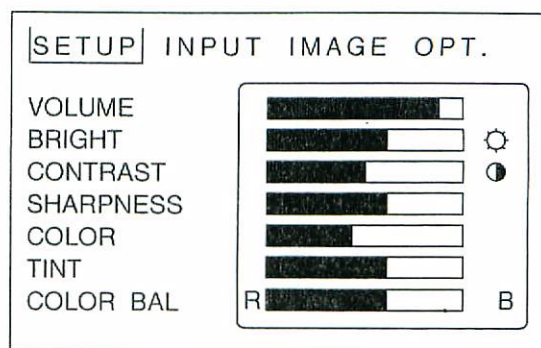
## SET UP

SET UP メニューでは、映像の調節や画像の表示位置の調節ができます。

### RGB 信号入力



### VIDEO 信号入力



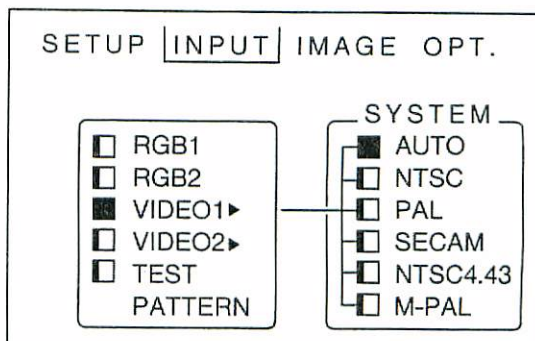
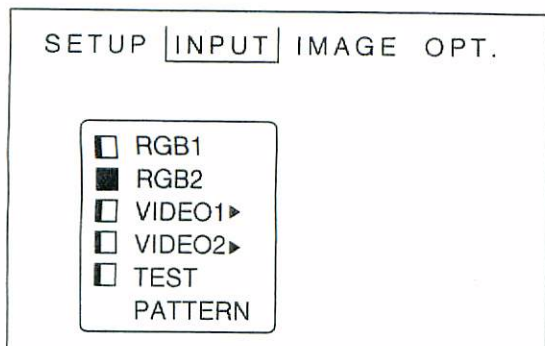
調節項目	調節内容
VOLUME	音量が小さくなる ← → 音量が大きくなる
BRIGHT (BRIGHTNESS)	暗くなる ← → 明るくなる
CONTRAST	コントラストが弱くなる ← → コントラストが強くなる
SHARPNESS	やわらかな画質になる ← → くっきりとした画質になる
COLOR	色が淡くなる ← → 色が濃くなる
TINT	赤っぽくなる ← → 緑っぽくなる
V POSIT (V POSITION)	画像を上下に移動する
H POSIT (H POSITION)	画像を左右に移動する
H PHASE	チラツキが無くなるように調節する
H SIZE	画像水平サイズを調節する
COLOR BAL (COLOR BALANCE)	赤っぽくなる ← → 青っぽくなる

- ご注意**
- 初期画面("NO INPUT IS DETECTED"、または"SYNC IS OUT OF RANGE")が表示されている間はメニューの設定はできません。
  - PAL、SECAM 方式の VIDEO 信号入力の場合、TINT は調節できません。
  - RGB 信号入力の場合、TINT、COLOR、SHARPNESS は調節できません。
  - VIDEO 信号入力の場合、V POSIT、H POSIT、H PHASE、H SIZE は調節できません。

# 調整と機能について (つづき)

## INPUT

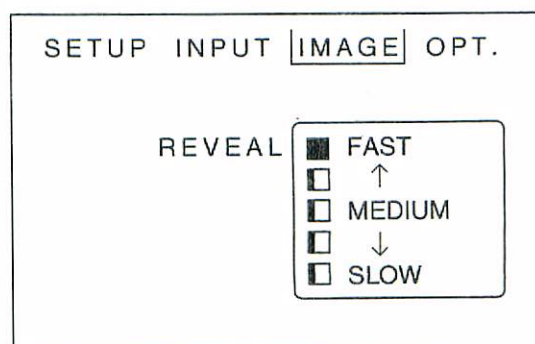
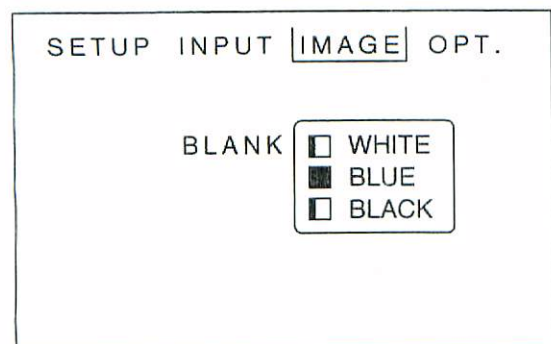
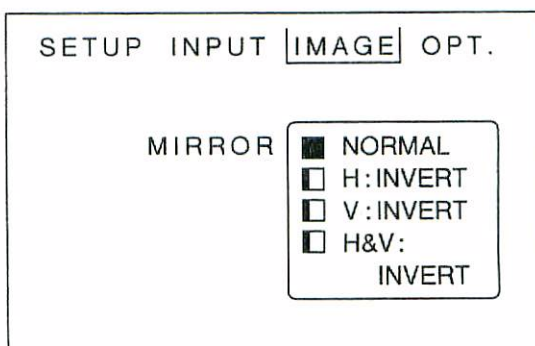
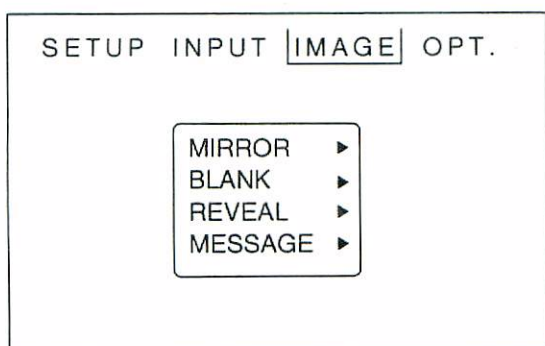
INPUTメニューでは、入力信号の選択ができます。



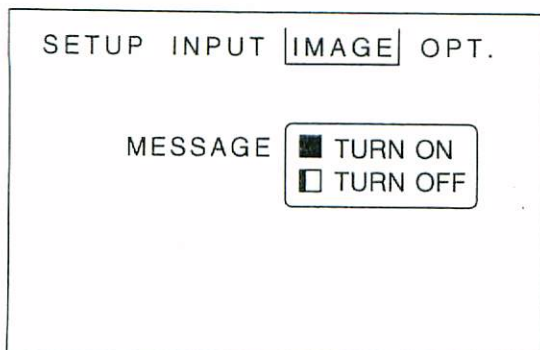
調節項目	調節内容
RGB 1	RGB 1 入力を選択します。
RGB 2	RGB 2 入力を選択します。
VIDEO 1	VIDEO 1 入力を選択します。
VIDEO 2	VIDEO 2 入力を選択します。
TEST PATTERN	テストパターン（初期画面）表示を選択します。
SYSTEM	ビデオ信号方式を設定します。 画面が不安定の時（色がつかない、同期が乱れる等）は、 入力信号に合ったモードを強制的に選んでください。

## IMAGE

IMAGEメニューでは、投影映像の反転などの設定ができます。



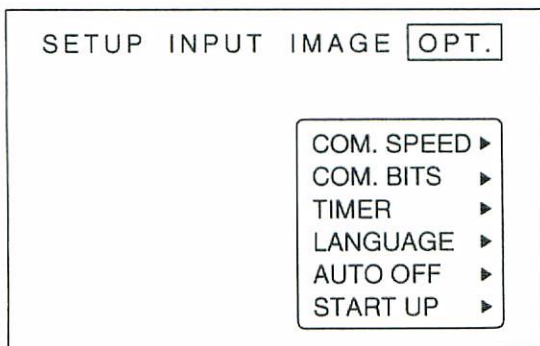
# 調整と機能について (つづき)



調節項目	調節内容
MIRROR.	投影映像の左右反転、上下反転を設定します。 H: INVERT 左右反転のみ V: INVERT 上下反転のみ H & V: INVERT 左右および上下反転
BLANK	BLANK ON 時および無信号時のブランキングする色を設定します。 無信号時には5分でブランキングがかかります。
REVEAL	ブランキングの幕引きする速度を設定します。(参照ページ9. BLANK ON)
MESSAGE	メッセージ表示 (FOCUS、VOLUME、INPUT モード) のオン、オフを切替えます。

## OPT

OPTメニューでは、通信機能などの設定を行います。





# 調整と機能について (つづき)

SETUP INPUT IMAGE [OPT.]

COM. SPEED (bps)

- 1200
- 2400
- 4800
- 9600
- 19200

SETUP INPUT IMAGE [OPT.]

COM. BITS

- 7N1
- 8N1

SETUP INPUT IMAGE [OPT.]

TIMER

↑  
10 min.  
↓

SETUP INPUT IMAGE [OPT.]

LANGUAGE

- ENGLISH
- FRANÇAIS
- DEUTSCH
- ESPAÑOL
- ITALIANO
- NORSK
- NEDERLANDS

SETUP INPUT IMAGE [OPT.]

AUTO OFF

↑  
0 min.  
STOP

SETUP INPUT IMAGE [OPT.]

START UP

- TURN ON
- TURN OFF

調節項目	調節内容
COM. SPEED	通信の伝送速度を設定します。(5種類)
COM. BITS	通信データのビット構成を設定します。 7N1…7 data bits, No parity, 1 stop bit. 8N1…8 data bits, No parity, 1 stop bit.
TIMER	タイマー表示の時間を設定します。(0~99)
LANGUAGE	メニュー画面の言語を選択します。 (英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、イタリア語、ノルウェー語、オランダ語)
AUTO OFF	入力信号が無くなってからパワーOFF (スタンバイ状態) するまでの時間を設定します。設定時間: "1~99"、"0": 設定なし
START UP	電源投入時の初期画面を設定 / 解除します。

# VIDEO 信号入力端子への接続

## 1. 入力信号

S-VIDEO 信号		輝度信号 1.0Vp-p、75 Ω 終端 色信号 0.286Vp-p (バースト信号)、75 Ω 終端
VIDEO 信号		1.0Vp-p、75 Ω 終端
音声信号	入力信号	200mVrms、20k Ω 以下 (Max3.0 Vp-p)
	出力信号	0~200mVrms、1k Ω

## 2. 信号入力端子



S VIDEO 入力 (ミニ DIN 4ピン)

**ご注意** VIDEO 信号入力端子は、次の順で優先します。  
 ①S-VIDEO 入力端子 ②RCA ジャック入力端子  
 VIDEO 信号を投射している場合でも、音声信号のみ、RGB 音声出力端子に出力されます。

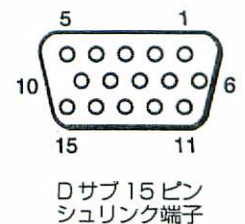
# RGB 信号入力端子への接続

## 1. 入力信号

映像信号		アナログ 0.7Vp-p 75 Ω 終端 (正極性)
水平同期信号		TTL レベル (正極性/負極性)
垂直同期信号		TTL レベル (正極性/負極性)
複合同期信号		TTL レベル
音声信号	入力信号	200mVrms、20k Ω 以下 (Max 3.0Vp-p)
	出力信号	0~200mVrms、1k Ω

## 2. 信号入力端子

1	映像入力 (赤)	9	N.C
2	映像入力 (緑)	10	接地
3	映像入力 (青)	11	N.C
4	N.C	12	DDC端子 (Display Data Channel)
5	N.C	13	水平同期信号/複合同期信号
6	接地 (赤用)	14	垂直同期信号
7	接地 (緑用)	15	DDC端子 (Display Data Channel)
8	接地 (青用)		



# RGB 信号入力端子への接続 (つづき)

## 3. コンピュータ信号例

解像度 H×V	fH (kHz)	fH (kHz)	規格	信号モード	表示モード	表示画素数 H×V (ドット)
640×350	31.5	70.1		VGA-1	拡大	1024×560
640×400	24.8	56.4		NEC PC9800	拡大	1024×640
640×400	31.5	70.1		VGA-2	拡大	1024×640
640×480	43.3	85.0	VESA		拡大	853×640
640×480	31.5	59.9	VESA	VGA-3	拡大	1024×768
640×480	35.0	66.7		Mac 13" mode	拡大	1024×768
640×480	37.9	72.8	VESA		拡大	1024×768
640×480	37.5	75.0	VESA		拡大	1024×768
800×600	35.2	56.3	VESA	SVGA(56HZ)	拡大	1000×750
800×600	37.9	60.3	VESA	SVGA(60HZ)	拡大	1000×750
800×600	48.1	72.2	VESA	SVGA(72HZ)	拡大	1000×750
800×600	46.9	75.0	VESA	SVGA(75HZ)	拡大	1000×750
800×600	53.7	85.1	VESA	SVGA(85HZ)		800×600
832×624	49.7	74.5		Mac 16" mode	拡大	980×735
1024×768	35.5	Interace 43.5	VESA	XGA(43Hz)	縮小	853×640
1024×768	48.4	60.0	VESA	XGA(60Hz)		1024×768
1024×768	56.5	70.1	VESA	XGA(70Hz)		1024×768
1024×768	60.0	75.0	VESA	XGA(75Hz)		1024×768
1152×864	67.5	75.0	VESA		縮小	988×741
1280×960	60.0	60.0	VESA		縮小	1024×768
1280×1024	64.0	60.0	VESA	SXGA(60Hz)	縮小	960×768
1280×1024	80.0	75.0	VESA	SXGA(75Hz)	縮小	960×768

### ご注意

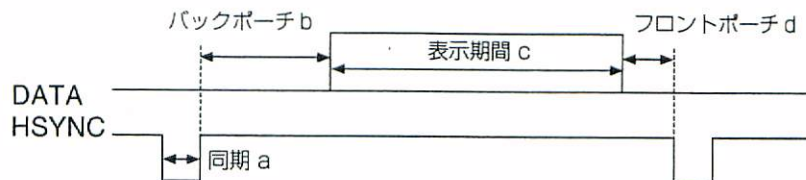
- コンピュータは、機種によって複数の表示画面モードを持っているものがあります。この中には、本機では対応できないモードがあります。
- 本機とコンピュータを接続する場合、端子形状、信号レベル、タイミングや解像度等の適合性をご確認ください。
- 入力信号によってはフルサイズで表示しないものがあります。上の表示画素数を参照ください。

# RGB 信号入力端子へ接続 (つづき)

## 4. 初期設定信号

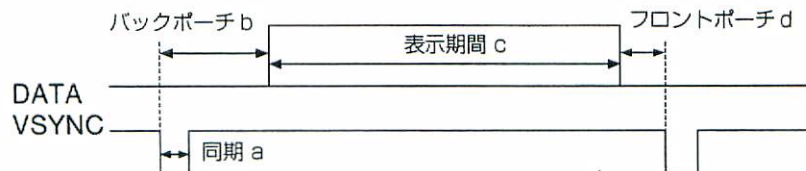
信号として下記の信号を初期設定しています。

コンピュータ機種によっては、異なることがあります。そのときは13, 14ページを参照して調節してください。



コンピュータ/信号源	水平信号タイミング (μS)			
	a	b	c	d
VGA-1	3.8	1.9	25.4	0.6
PC-9800	3.0	3.8	30.4	3.0
VGA-2	3.8	1.9	25.4	0.6
VESA (85Hz)	1.6	2.2	17.8	1.6
VGA-3	3.8	1.9	25.4	0.6
Mac 13inch mode	2.1	3.2	21.2	2.1
VESA (72Hz)	1.3	4.1	20.3	0.8
VESA (75Hz)	2.0	3.8	20.3	0.5
SVGA (56Hz)	2.0	3.6	22.2	0.7
SVGA (60Hz)	3.2	2.2	20.0	1.0
SVGA (72Hz)	2.4	1.3	16.0	1.1

コンピュータ/信号源	水平信号タイミング (μS)			
	a	b	c	d
SVGA (75Hz)	1.6	3.3	16.3	0.3
SVGA (85Hz)	1.1	2.7	14.2	0.6
Mac 16inch mode	1.1	3.9	14.5	0.6
XGA VESA (43Hz)	3.9	1.2	22.8	0.2
XGA VESA (60Hz)	2.1	2.5	15.8	0.4
XGA VESA (70Hz)	1.8	1.9	13.7	0.3
XGA VESA (75Hz)	1.2	2.2	13.0	0.2
VESA (75Hz)	1.2	2.4	10.7	0.6
VESA (60Hz)	1.0	2.9	11.9	0.9
SXGA VESA (60Hz)	1.0	2.3	11.9	0.4
SXGA VESA (60Hz)	1.1	1.8	9.5	0.1



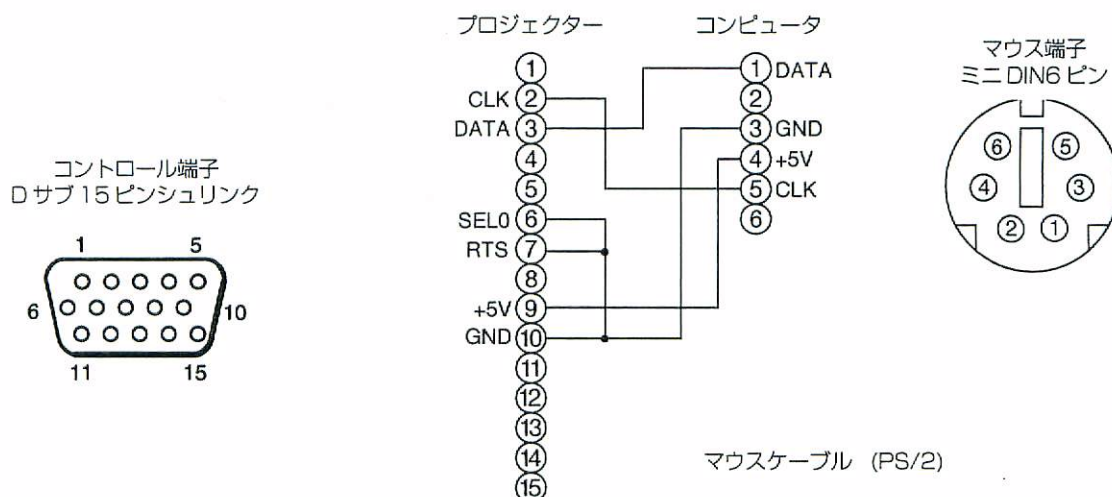
コンピュータ/信号源	垂直信号タイミング (ライン数)			
	a	b	c	d
VGA-1	2	59	350	38
PC-9800	8	25	400	7
VGA-2	2	34	400	13
VESA (85Hz)	3	25	480	1
VGA-3	2	33	480	10
Mac 13inch mode	3	39	480	3
VESA (72Hz)	3	28	480	9
VESA (75Hz)	3	16	480	1
SVGA (56Hz)	2	22	600	1
SVGA (60Hz)	4	23	600	1
SVGA (72Hz)	6	23	600	37

コンピュータ/信号源	垂直信号タイミング (ライン数)			
	a	b	c	d
SVGA (75Hz)	3	21	600	1
SVGA (85Hz)	3	27	600	1
Mac 16inch mode	3	39	624	1
XGA VESA (43Hz)	4	20	768	0
XGA VESA (60Hz)	6	29	768	3
XGA VESA (70Hz)	6	29	768	3
XGA VESA (75Hz)	3	28	768	1
VESA (75Hz)	3	32	864	1
VESA (60Hz)	3	36	960	1
SXGA VESA (60Hz)	3	38	1024	1
SXGA VESA (60Hz)	3	38	1024	1

# CONTROL 信号端子への接続

## 1. マウス機能

- (1) プロジェクターとコンピュータの MAIN POWER スイッチを OFF (切) にして、付属または別売りの適合したケーブルで接続します。
- (2) プロジェクターのメイン電源を入れます。(オン インジケータランプが緑に点灯します)
- (3) 本体の INPUT ボタンまたは、リモコン送信機の RGB1/2 ボタンを押して、コンピュータが接続されている入力を選びます。
- (4) コンピュータの電源を入れます。
- (5) マウス機能を開始します。  
もしマウス機能が開始されない場合はコンピュータをリセットしてください(ソフトリセットかリセットスイッチ)
- (6) リモコンでの操作については8ページをお読みください。  
\* リモコンによるマウス操作は8ページを参照下さい。
- (7) DISK PAD ボタンを押す力によってマウスの動作スピードが変わります。



付属のマウスケーブルは PS/2 マウス用 (IBM 及び互換機用) です。

ADBマウス用 (アップル)、BUSマウス用 (NEC) 及びシリアルマウス用の接続ケーブルは別売となります。

マウスケーブル	品名	パーツNO.
ADB マウス用	COE-MAC (ADB) -2	EW02742
BUS マウス用	COE-PC98 (BUS) -2	EW02762
シリアルマウス用	COE-SERIAL-2	EW02732

**ご注意** 接続する前に、接続する機器の取扱説明書をよくご覧ください。  
プロジェクターおよびコンピュータの電源を OFF (切) にして、接続してください。  
コンピュータの電源を入れたままマウスケーブルの抜き差しを行なうと故障の原因になります。  
接続には、付属のマウスケーブルまたは別売のマウスケーブルを使用してください。

トラックボールなどのポインティングデバイスを内蔵するノートタイプのコンピュータでは、外部マウスに設定しても、内蔵ポインティングデバイスが優先され、外部マウスが選択されない場合があります。

この場合は、内蔵ポインティングデバイスを無効とし、外部マウスを選択するように、BIOS の設定 (システムのセットアップ) を変更してください。

BIOS の設定を変更した後、上記の (1) ~ (5) の操作を行ってください。

BIOS の設定については、コンピュータのハードウェアマニュアルをご参照ください。

また、コンピュータによってはユーティリティプログラムが無いとマウスが動かない機種があります。

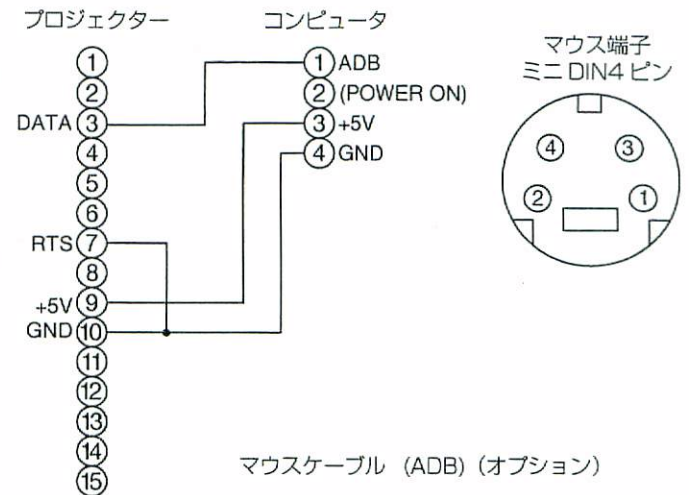
コンピュータのハードウェアマニュアルをご参照ください。

# CONTROL 信号端子への接続 (つづき)

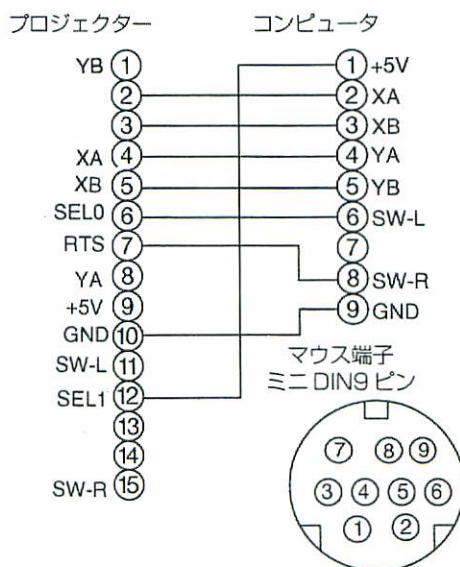
## CONTROL 信号端子

ピンNO.	RS-232C	マウス			
		PS/2	ADB	Serial	BUS
1					YB
2		CLK			
3		DATA	DATA		
4					XA
5					XB
6	SELO	SELO		SELO	SELO
7	RTS	RTS	RTS	RTS	RTS
8					YA
9		+5	+5		+5V
10	GND	GND	GND	GND	GND
11					SW-L
12					SEL1
13	RDP				
14	TDP			TD	
15					SW-R

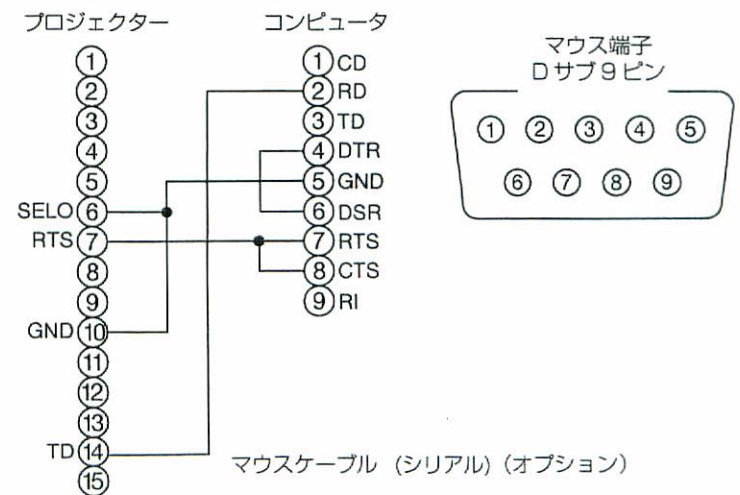
### ADB (Mac) マウス



### バスマウス



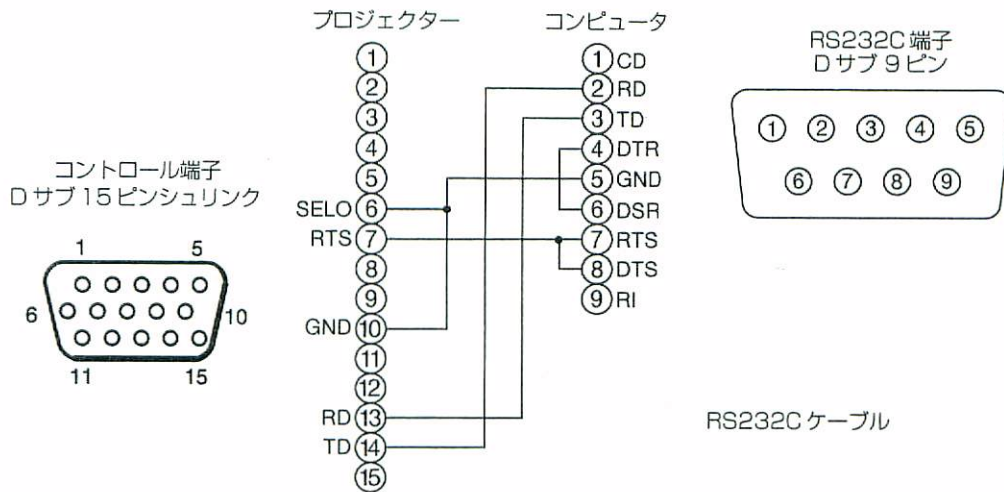
### シリアルマウス



# CONTROL 信号端子への接続 (つづき)

## 2. RS232C 通信

- (1) プロジェクターとコンピュータの電源を OFF (切) にして、同梱の RS232C ケーブルで接続します。
- (2) コンピュータの電源を入れ、コンピュータが立ち上がった後に、プロジェクターの電源を入れます。
- (3) 17 ページを参照して、COM. SPEED と COM. BITS の設定を行ってください。
- (4) RS232C 通信を開始します。



コマンド	プロジェクトー→コンピュータ			コンピュータ→プロジェクトー						
	回答コード			質問コード		設定コード			デフォルト設定コード	
	1st	2nd	data	1st	2nd	1st	2nd	data	1st	2nd
MOUSE	11h	05h	+1	20h	05h	31h	05h	+1	40h	05h
COMMUNICATE	11h	06h	+1	20h	06h	31h	06h	+1	40h	06h
POWER	11h	11h	+1	20h	11h	31h	11h	+1	——	——
ZOOM	11h	12h	+1	——	——	31h	12h	+1	——	——
FOCUS	11h	13h	+1	——	——	31h	13h	+1	——	——
MIRROR	11h	14h	+1	20h	14h	31h	14h	+1	40h	14h
INPUT	11h	21h	+1	20h	21h	31h	21h	+1	40h	21h
(VIDEO) SYSTEM	12h	22h	+2	20h	22h	32h	22h	+2	40h	22h
VOLUME	11h	23h	+1	20h	23h	31h	23h	+1	40h	23h
MUTE	11h	24h	+1	20h	24h	31h	24h	+1	40h	24h
BRIGHT	13h	31h	+3	20h	31h	33h	31h	+3	40h	31h
CONTRAST	13h	32h	+3	20h	32h	33h	32h	+3	40h	32h
COLOR	13h	33h	+3	20h	33h	33h	33h	+3	40h	33h
TINT	13h	34h	+3	20h	34h	33h	34h	+3	40h	34h
SHARPNESS	13h	35h	+3	20h	35h	33h	35h	+3	40h	35h
H.PHASE	13h	37h	+3	20h	37h	33h	37h	+3	40h	37h
H.POSIT	14h	38h	+4	20h	38h	34h	38h	+4	40h	38h
H.SIZE	14h	36h	+4	20h	36h	34h	36h	+4	40h	36h
V.POSIT	14h	3Ah	+4	20h	3Ah	34h	3Ah	+4	40h	3Ah
BLANK	11h	41h	+1	20h	41h	31h	41h	+1	40h	41h
REVEAL	11h	42h	+1	20h	42h	31h	42h	+1	——	——

# CONTROL 信号端子への接続 (つづき)

コマンドデータ表

Item	Data code
MOUSE	00h= マウス機能停止、01~7Fh= マウス機能開始
COMMUNICATE	0Xh=8N1 1Xh=7N1 X0h=1200bps, X1h=2400bps, X2h=4800bps, X3h=9600bps, X4h=19200bps
POWER	1Eh= パワーオフ (スタンバイ状態)、1Fh= パワーオン
ZOOM	01~3Fh=Zoom+, 41~7Fh=Zoom- 01, 04 (縮小) ~3F, 7F (拡大)
FOCUS	01~3Fh=Focus+, 41~7Fh=Focus- 01, 04 (短い) ~3F, 7F (長い)
MIRROR	00h=Normal, 01h=H:Invert, 02h=V:Invert, 03h=H & V:Invert
INPUT	11h=VIDEO1, 12h=VIDEO2, 21h=RGB1, 22h=RGB2
VIDEO SYSTEM	00h 00h=Auto, 00h 01h=NTSC 00h 04h=NTSC4, 43 00h 02h=PAL, 00h 03h=SECAM 00h 05h=M-PAL,
VOLUME	00h (音量小さい) ~7Fh (音量大きい)
MUTE	00h= ミュートオフ 01h= ミュートオン
BRIGHT	00h 00h 00h (暗い) ~00h 00h 7Fh (明るい)
CONTRAST	00h 00h 00h (弱い) ~00h 00h 7Fh (強い)
COLOR	00h 00h 20h (淡い) ~00h 00h 60Fh (濃い)
TINT	00h 00h 2Eh (赤っぽい) ~00h 00h 52Fh (緑っぽい)
SHARPNESS	00h 00h 00h (やわらかい) ~00h 00h 64Fh (くっきりする)
H.PHASE	00h 00h 00h~00h 00h 1Fh
H.POSIT	00h 00h 52h 00h (左) ~00h 00h 52Fh 04h (右)
H.SIZE	00h 00h 00h 06h (小さい) ~00h 00h 48h 0Bh (大きい) ただし、(小さい) (大きい) どちらのデータも入力信号によって変化します。
V.POSIT	00h 00h 06h 00h (下) ~00h 00h 50Fh 05h (上) ただし、(上) 側の値は入力信号で変化します。
BLANK	0Xh= ブランキングオフ 1Xh= ブランキングオン bit0 0=Blue off, 1=Blue on, bit1 0=Green off, 1=Green on bit2 0=red off, 1=Red on, bit3 0=色を変えない, 1=色を変える
REVEAL	X1h= 下方向に幕引き、X4h= 右方向に幕引き、X=0 (遅い) ~7 (速い)

コマンドコードは2バイト命令とそれに続くデータから構成されます。

- 命令の 1-st バイトは MSB 側 3 ビットでコマンドの種類を、LSB 側 4 ビットでデータ長を示します。

プロジェクターコンピュータ	コンピュータプロジェクター
'0xH': エラーコード	'2xH': 質問コード
'1xH': 回答コード	'3xH': 設定コード
'70H': フレームエラーコード	'4xH': デフォルト設定コード

'x' はデータ長を示す。(例: x=2...2 バイトの命令)

- コマンドコードの 2-nd バイトがコマンドの内容を示します。



# CONTROL 信号端子への接続 (つづき)

## プロジェクターの状態を問い合わせる場合

- (1) コンピュータから質問コード '20H'+yyH' をプロジェクターに送ります。
- (2) プロジェクターは回答コード '1xH'+yyH'+data をコンピュータへ返します。

## プロジェクターの設定を変更する場合

- (1) コンピュータから設定コード '3xH'+yyH'+data をプロジェクターに送ります。
- (2) プロジェクターは上記設定コードに基づき設定を変更します。
- (3) プロジェクターは回答コード '1xH'+yyH'+data をコンピュータへ返します。

**ご注意** (3) の回答 data は (1) の設定 data と等しいとは限りません。  
例えば、プロジェクターが (1) の設定 data に設定できない場合、プロジェクターは近似値に設定し、その近似値を (3) 回答 data に使うことがあります。又は、プロジェクターはエラーコード '0xH'+yyH'+data を返します。

## プロジェクターの設定をデフォルトにする場合

- (1) コンピュータからデフォルト設定コード '40H'+yyH' をプロジェクターに送ります。
- (2) プロジェクターは指定された設定をデフォルトに変えます。
- (3) プロジェクターは回答コード '1xH'+yyH'+data でデフォルト値を返します。

## プロジェクターが送信されたコマンドを理解できない場合

- (1) コンピュータからコマンドコード '2xH'、'3xH' または '4xH'+yyH'+data をプロジェクターに送ります。
- (2) プロジェクターが送られたコマンドを理解できない場合は、エラーコマンド '00H'+yyH' を返します。

## プロジェクターが送信されたデータを理解できない場合

- (1) コンピュータからコマンドコード '2xH'、'3xH' または '4xH'+yyH'+data をプロジェクターに送ります。
- (2) プロジェクターが送られたコマンドを理解できない場合は、データ付きのエラーコード '0xH'+yyH'+data をそのまま返します。

尚、必要なデータ符号長より長い場合、プロジェクターは余分のデータ符号を無視します。  
逆に、必要なデータ符号長より短い場合、プロジェクターは本エラーコードを返します。

## フレームエラーを起こした場合

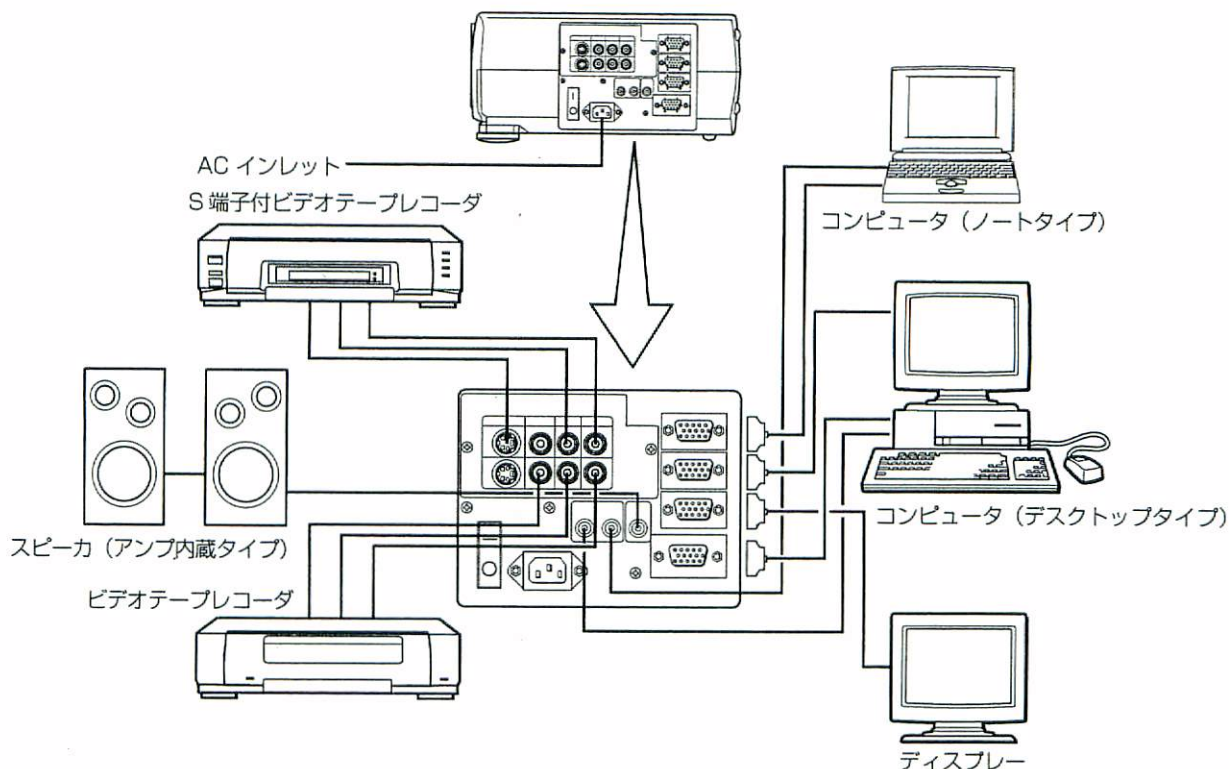
- (1) 1200bps, 7N1 に設定後、エラーコード '70H'+70H' を何らかの応答があるまで 1 秒間隔で 10 回まで送ります。
- (2) フレームエラーコードを受信した場合は、1200bps, 7N1 とし、'12H'+03H'+01H'+00H' を送信します。

## 1 コマンド内のバイト間が 500mS 以上ある場合

コンピュータからコマンドコード '2xH'、'3xH' または '4xH' を送出後、500mS 以内に命令やデータを送られない場合、500mS を越えた時点でエラーコマンド '70H'+70H' を返します。そのとき、何らかの応答が 1 秒以内でない場合は、フレームエラーに準じます。

**ご注意** ● プロジェクターが未定義のコマンドあるいはデータを受け取った場合は、動作を保証できません。  
● 回答コードと他のコードの間隔は 40mS 以上あけてください。

# システムアップ例



**【ご注意】** 各機器の電源を切ってから接続してください。  
接続ケーブルは、それぞれの端子の形状に合った正しいものをお使いください。  
接続にあたっては、各機器の取扱説明書をご覧ください。

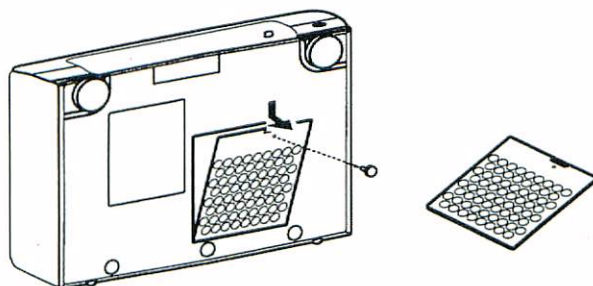
## エアフィルターのクリーニング

エアフィルターのクリーニングは、約 100 時間を目安に又は“CHECK THE AIR FLOW”の表示が出た時に行ってください。

汚れが落ちなくなったり破損したときは、交換が必要です。販売店またはサービス会社にお問い合わせください。

**1 本体のMAIN POWERスイッチを切り、電源コードを抜く**

**2 底面のエアフィルターを外す**



# エアフィルターのクリーニング（つづき）

## 3 掃除機でフィルターを掃除する

## 4 エアフィルターをはめる

**ご注意** ほこりなどによりエアフィルターがつまりますと、プロジェクター内部の温度上昇を防止するため、プロジェクターの電源を切ることがあります。  
プロジェクター下の通風口がふさがれていると“CHECK THE AIR FLOW”が表示されます。

## ランプについて

光源のランプには、寿命があります。

長時間使用しますと、映像が暗くなったり、色合いが悪くなったりします。

そのままご使用いただきますと故障の原因にもなりますので新しいランプと交換ください。

ランプ交換の目安として、下記のインジケータ表示もしくは電源投入時のメッセージ表示をします。

このような時は新しいランプと取り替えが必要です。ランプの取り替えには、特別な技術が必要ですので、お買い求めの販売店または、サービス会社にお問い合わせください。

**ご注意** LAMP インジケータは、ランプ部が高温になったときにも赤色に点灯します。MAIN POWER スイッチを切り、しばらく（約20分）時間をおいて再度電源を入れてください。再度電源を入れてもLAMP インジケータが赤色に点灯する時は販売店または、サービス会社にご連絡ください。

## メッセージ一覧表

### 画面表示

画面に、次のメッセージが表示されます。

CHANGE THE LAMP "CALL A MAINTENANCE PERSON"	ランプ累積時間が1900時間以上経過。ランプの寿命です。新しいランプと取り替えてください。2000時間になるランプが自動消灯します。 * 1
"CHANGE THE LAMP" "CALL A MAINTENANCE PERSON" "THE POWER WILL TURN OFF AFTER * Hr."	ランプ累積時間が1980時間以上経過。あと*時間でランプが消灯します。早めに新しいランプと取り替えてください。 * 1 *はランプ自動消灯までの残り時間を表します。
上記文字の点滅	ランプ累積時間が2000時間以上経過。点滅開始から約10分で自動的にランプが消灯します。新しいランプと取り替えてください。
NO INPUT IS DETECTED	信号が入力されていません。(参照ページ18、19)
SYNC IS OUT OF RANGE	現在の入力信号の水平または垂直周波数は本機では対応できません。(参照ページ19、20)
CHECK THE AIR FLOW	エアフィルターを掃除するか、通風口をふさいでいるものを取り除いてください。(参照ページ26)

\* 1 表示は3分で消えますが、再度電源を投入すると表示します。

# メッセージ一覧表 (つづき)

## インジケータ表示

ONインジケータ、LAMPインジケータ、TEMPインジケータは、次のようなときに点灯あるいは点滅します。

	インジケータ表示	メッセージ	処置のしかた
ON インジケータ	オレンジ色の点灯	スタンバイ状態	——
	緑色の点滅	ウォームアップ中	——
	緑色の点灯	動作状態	——
	オレンジ色の点滅	クールダウン中	——
	赤色の点灯	下記の3つのモード時	下記に記載
LAMP インジケータ	赤色の点灯	ランプが点灯しない	しばらく(約20分)時間をおいて、再度電源を入れてください
TEMP インジケータ	赤色の点灯	内部が高温になっている	通気孔をふさがないように正しく設置をしてください
	赤色の点滅	冷却ファンが動かない	販売店にご相談ください

LAMPまたはTEMPインジケータが点灯、点滅したときは、MAIN POWERスイッチを切ってから処置を行ってください。それでも異常があるときは販売店または、サービス会社にご相談ください。

## 故障かな? と思ったら

修理に出す前に、下記のことをもう一度お確かめください。

それでも具合の悪い場合は、販売店にお問い合わせください。

このようなときは	よくある事例	ここをお調べください	ページ
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 主電源が入っていない</li> <li>● 電源コードが抜けている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● MAIN POWERスイッチを入れてください。</li> <li>● 電源コードをAC INに差し込んでください。</li> </ul>	P.11 P.7
映像も音声もでない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 入力切換の設定が異なっている</li> <li>● 本機への配線が正しく接続されていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本体またはリモコン送信機で設定してください。</li> <li>● 正しく接続してください。</li> </ul>	P.7,8, 11,15 P.7,26
映像は出るが音声がでない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本機への配線が正しく接続されていない</li> <li>● 音量調整が最小になっている</li> <li>● 消音状態になっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 正しく接続してください。</li> <li>● 音量ボタンを押すかメニュー画面を表示し、音量を調整してください。</li> <li>● MUTE ボタンを押してください。</li> </ul>	P.7,26 P.8 P.14 P.7,8
音声は出るが映像がでない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本機への配線が正しく接続されていない</li> <li>● 明るさ調整が(暗い)側いっぱいになっている</li> <li>● レンズカバーが閉じている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 正しく接続してください。</li> <li>● MENU ボタンでBRIGHTを選択し、▶キーを押してください。</li> <li>● レンズカバーレバーを下げ、レンズカバーを開けてください。</li> </ul>	P.7,26 P.7 P.11
色がうすい 色あいが悪い	色の濃さ、色合い調整が正しく調整されていない	映像の調整を行ってください	P.14
画像が暗い	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 明るさ、コントラスト調整が正しく調整されていない</li> <li>● ランプの寿命が近い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 映像の調整を行ってください</li> <li>● 新しいランプと交換が必要です。</li> </ul>	P.14 P.27
画像がぼやける	フォーカスかH PHASEが合っていない	フォーカスかH PHASEを調整してください	P.11,24
LAMP インジケータが赤色の点灯	ランプ異常	しばらく(約20分)時間をおいて、再度電源を入れてください。	P.28
TEMP インジケータが赤色の点灯	内部が高温になっている	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 通気孔をふさがないようにしてください。</li> <li>● エアフィルターを掃除してください。</li> <li>● 周囲温度を35°C以下にしてください。</li> </ul>	P.5,28

画面中に輝点や黒点がみられることがありますが、液晶特有の現象であり、故障ではありません。

# 仕様

● 本仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

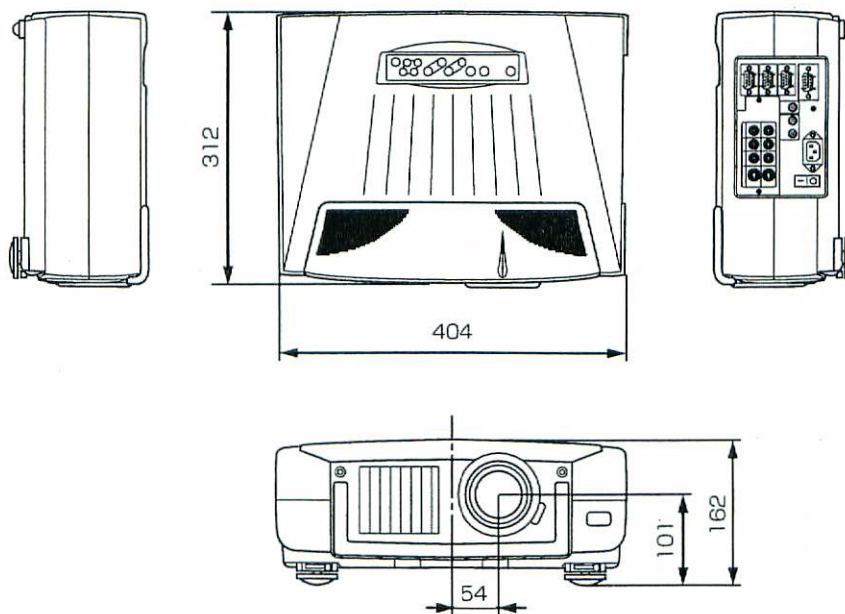
● この液晶プロジェクターを使用できるのは日本国内のみです。外国では使用できません。

This Liquid crystal projector set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

品名	液晶プロジェクター	
形名	CP-X950J	
表示方式	液晶パネル3枚3原色光シャッター方式	
液晶パネル	パネルサイズ	3.3cm (1.3型)
	駆動方式	TFT アクティブマトリクス
	画素数	786,432 画素 (垂直 768 × 水平 1,024)
レンズ	ズームレンズ F=2.3~3.0 f=48.1~72.1mm	
ランプ	メタルハライドランプ 260W	
スピーカー	2W + 2W (ステレオ)	
電源	AC100V (50/60Hz)	
消費電力	370W	
使用温度範囲	0~35℃	
外形寸法	幅 404 × 高さ 162 × 奥行 312mm	
質量	9.1kg	
VIDEO 信号入力端子	S映像：ミニ DIN4 ピン端子 映像：RCA ジャック端子 音声：RCA ジャック端子	
RGB 信号入力/出力端子	RGB 信号：D サブ 15ピン シュリンク端子 音声：ステレオミニジャック (φ 3.5) 端子	
CONTROL 信号端子	D サブ 15ピン シュリンク端子	
付属品	リモコン送信機…………… 1 個      RS232C ケーブル…………… 1 本 電源コード…………… 1 本      マウスケーブル (PS/2) …… 1 本 RGB ケーブル…………… 1 本      単 3 乾電池 Audio/Video ケーブル… 1 本      LR6 ……………… 2 個	

## 寸法図

単位：mm



# 保証とアフターサービスについて

---

## 保証書について

この製品には、保証書が添付されていますので所定事項の記入および記載内容をご確認のうえ大切に保管してください。

## アフターサービスについて

調子が悪いときはまずチェックをしてください。

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは、お買上げ販売店、またはサービス会社にご相談ください。

## 保証期間中の修理について

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

詳細は保証書をご覧ください。

## 保証期間経過後の修理について

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

補修性能部品の最低保有期間は、製造打切後 8 年です。

●購入店名などを記入しておきますと、アフターサービスのとき便利です。

購入店名

電話 ( )

購入年月日

年 月 日

●万一故障などでアフターサービスをお申しつけのときは、右の内容をお知らせください。

形名 = (本体) CP-L850J

症状 = できるだけ詳しく

道順 = 付近の目印も

株式会社 日立製作所 映像情報メディア事業部 映像システム部

〒105 東京都港区西新橋 2-15-12

日立愛岩別館

電話 (03) 3502-2111